

第405号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



と 問いを学ぶ

まな



カット：本多紘子

秋本番の季節となってきました。稲穂も実り、いよいよ収穫の時が近づいています。今年の夏は気候変動で異常な猛暑が続ぎ、秋のお彼岸参りもお盆参りのように暑くて驚きました。皆様お元気ですか。

9月8日夜に、北アフリカのモロッコ中部で発生したマグニチュード6・8の大地震で約3千人が死亡しました。山の斜面に建てられた土壁やブロックづくりの家はほぼすべて瓦礫となり被害が大きくなつたようです。日本でも、いつ南海トラフの大地震が発生するかも知れないので、家の耐震補強や津波による避難対策を考えたいですね。

同じ北アフリカのリビア東部で、9月11日に偏西風の異常蛇行で台風のようなメデイクーンが発生し、古いダムが決壊して約4千人の死者が出ています。地球温暖化による異常気象で世界の各地が、乾燥で砂漠化したり、台風や大雨で家屋が流されたり人命が失われているのは悲しいことです。ある意味で天災ではなく人災とも言えます。

便利で心豊かな社会を目標に、地球温暖化のもとである二酸化炭素の排出を減らそうと脱炭素社会実現が叫ばれています。各国が普及を進める再生可能エネルギーや電気自動車などの技術に、電気を通しやすく、さびにくく丈夫で、加工がしやすい銅が大量に使われ、銅価格

が無茶苦茶に跳ね上がりだしました。そもそもスマートフォンやパソコンなどに用いられる基盤には、銅が用いられ、導電性と熱伝導生が高く、容易に加工できる銅は各国の産業に欠かせないのです。そうかと言つて、銅山を開発することは環境破壊に繋がります。鉱石には硫黄、ヒ素、カドミウムなどが含まれることが多く、こうした有害成分が川や土壌を汚染し、森林が枯れたり人が鉛毒死する悲惨な被害もあり悩ましいものです。日本の銅製錬企業では、私たちの身の回りには、銅などの金属を使った製品があふれているので、廃棄された大量の家電や電子機器、スクラップなどは「都市鉱山」と呼ばれ、銅のリサイクルに力を入れています。

リサイクル（循環型）社会こそ公害の少ない未来のあり方だと愚僧は思っています。少子高齢化社会となり、赤ちゃんの誕生が少なく、高齢者が増え、赤ちゃんの使う紙おむつの量より高齢者が3倍の量も多く使いました。紙おむつゴミの焼却量が増え悩む自治体は、何とかして紙おむつのリサイクルが出来ないかと智慧を絞っています。紙おむつが新しい資源として使われれば、高齢者も安心ですね。

公立学校教員の2024年度採用試験の志願者が減り、教員の長時間労働が問題となつて減少が続くのは、児童や生徒にとつても不幸なことです。ある教師の方が「学びながら教え、教えながら学ぶ」ことができる教師の仕事は「最高」だと言つた人を思い出します。

道綽禪師の『安樂集』に「前に生まれた者は後に生きる人を導き、後の世に生きる人は先人の生きた道を問い訪ねよ」とありますが、常にエゴで争つてきた人間が生き続けるためには、エゴを抑える理性や倫理観を大切にすることが、人間の生き続けるための知恵として、先人から学び、後に生きる人に伝えよという意味でもあります。

学問とは問いを学ぶことです。正しい問い方をすると正しい答えが帰ってきます。誤つた問い方をすると誤つた答えが帰ってきます。私たちは人生の正しい問い方を真剣に学ぼうよ。合掌（奥原曇龍）

『助け合い広い視点で考える 答えを焦らず問い方学ぼう』 どんりゅう

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。



カット：奥原 綾

ともしび説法

日時・十月二十日「金曜日」 午後一時半から四時まで。
「歎異抄（たんにしょう）に学ぶ」
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みみたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



お釈迦様ものがたり 84

お釈迦様は晩年に近く、従弟ダイバダッタのために、いろいろな被害を受けられます。ダイバダッタはアーナンダ(阿難陀)、アヌルッダなどと共に、お釈迦様の成道15年頃に出家したものとされ、アーナンダの兄と弟とせられているから、お釈迦様と30歳ほど若かったものと思われ、彼と同時に出家した釈迦国の人たちが、阿羅漢となつたり他の聖果を得たりしたのに、彼は聖果に達せず、世俗的な神通力を得ただけでした。

ダイバダッタは野心を持ち、神通力を持って、マガダ国の王子アジャセ(阿闍世)に近づいてその欲心を買ひ、彼から信頼を得て、日々多大の供養を受けたとせられます。お釈迦様はこのことを良く思わず、世間的欲望や名譽財産などが、出家者にとつては、かえって自己を破壊する原因となるものであることを、比丘たちに懇々と注意されました。

アジャセ王子と親しくなったダイバダッタは、王子は父のビンバシヤラ王に代わつて王となり、自分もお釈迦様に代わつて仏教団の指導者となり、この新王と新仏とで世の中を支配しようと約束します。

あるとき、お釈迦様がラージャガハでビンバシヤラ王を含めた大衆に対して説法をせられていた座席で、ダイバダッタは「お釈迦様はすでに老齢になっておられるから、今後は隠居して安らかに生活を楽しまれ、仏教教団を私に譲つて下さい。私が教団を統率しよう」と言ったが、お釈迦様はこれを拒絶されました。

「ダイバダッタよ、自分は智慧第一のシャリホツや神通第一のモクレン(目連)のような最も勝れた弟子にすら、教団を委託してない。お前のような人のツバキを6年も食べべってきた下劣な人間に、どうして任せられよう」と大衆の面前で辱めを受けたダイバダッタは、お釈迦様を怨みます。合掌(奥原曇龍)

ともしびに誘われ参る心光寺

夜長の庭に虫の大合唱

田辺多恵子



9月23日 秋のお彼岸合同法要(本堂にて)

ともしび法話

10月は、秋本番。秋のお彼岸参りも無事に終わりホツとしていきます。異常な暑さが居座っています。皆様お元氣ですか。

心光寺も11月3日の報恩講法要の準備に大忙しです。午後一時から法要儀式と仏教講演があり、氣樂にお参り下さい。

心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

曇龍先生、私は新潟県の出身なので親鸞聖人を偲ぶ報恩講は懐かしさを感じます。「悪人こそ救われる」という教えには

深い意味あり説法を聞こう

倉敷市東粒浦 前野美代子

最近の天気は異常ですね。5年前に西日本豪雨で大切な真備の住宅を失いました。人生は「まさか」の連続ですが、前を向いて七転び八起きで頑張っています。

倉敷市真備町 田中照美

「日々是好日」と何があつても今日一日を大切に生きたいと思っています。仏壇で先祖様を偲びながら、娘や孫達と手を合わせて感謝するのが一番の幸せです。

倉敷市西阿知町 堺 智津子

ともしび説法

日時・十月二十日「金曜日」 午後一時半から四時まで。
「歎異抄(たんにしよう)に学ぶ」

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

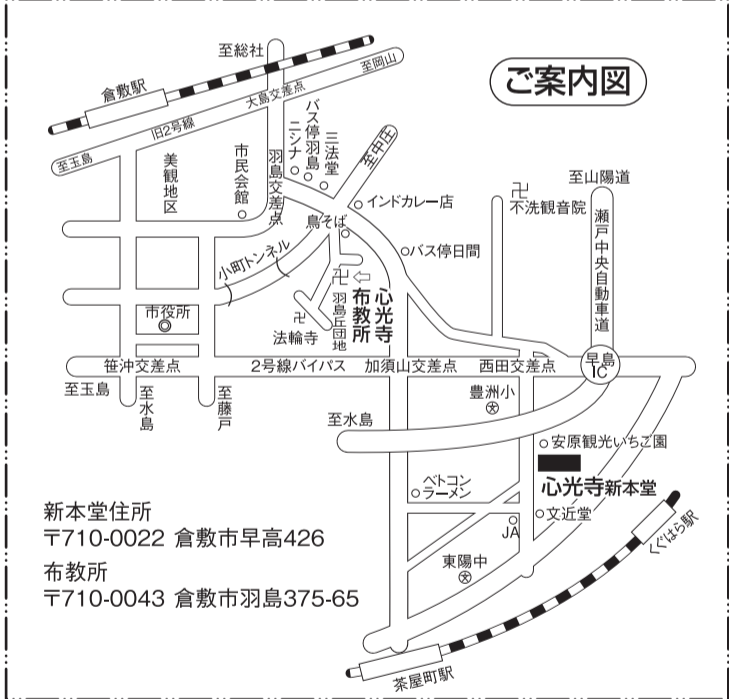
○ともしび説法・お寺の行事予定

十一月 三日(金)・午後一時から四時頃まで・早高の本堂。

十一月三日は秋の報恩講法要・法要儀式・仏教講演

十二月 十一日(月)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。
倉敷市 角南様 4千円
倉敷市 安藤知子様 山形田鶴子様 1万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。



カット:吉岡美枝

いころの詩

秋空高く風そよぐ季節
満天の夜空を仰ぎながら
見つめ直す我が人生
無心の境地にあこがれながら
滅茶苦茶に自己をつらぬく
もう人生も長くはないと
悔いだらけだが最後は感謝



〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「405号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時40分にお寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺までご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦